

第2回使用過程車の保守管理に関する調査分析検討会 議事概要

1. 日時：平成24年1月27日(金) 14:00～16:00

2. 場所：合同庁舎3号館 8階 国際会議室

3. 出席者

岡野委員、安藤委員、今田委員、岩越委員、江坂委員、柴垣委員、
柴田委員、増井委員、水野委員

4. 議事概要

(1) バス火災事故の防止に向けた取組みについて

- 注意喚起の広報に用いるための公表資料案（事業用バス火災データを集計し、要因別等に分析したもの）について審議し、委員からは主に以下の意見があった。
 - ・バス火災事故による死傷者人数等についても可能な限り追加すべき。
 - ・それぞれの要因について、どのような注意が必要なのかといった観点からも分析をすべき。
- 公表資料案については、委員からの意見を踏まえて事務局でブラッシュアップさせ、検討委員に改めて提示した後、注意喚起の広報に活用していくこととなった。

(2) エンジンオイル劣化による車両火災再現実証実験の実施について

- 実施計画について審議し、委員からは主に以下の意見があった。
 - ・実際の火災事例の件数を示すなど、今回の実験が特異な例を取り上げているような誤解が生じないように配慮が必要。
 - ・低温短距離でのオイル劣化等、今回の高温長距離でのオイル劣化の実験ではカバーしていない部分についても、実施について検討すべき。
- 実施について検討すべきとされた事項については、時間的制約もあることから、来年度に持ち越すこととなった。

(3) 使用過程車の安全・環境性能に関する動向把握状況等について

- 新技術の導入による変化等について、メーカーヒアリング等により把握していくこととし、ヒアリングの実施にあたっては、関係者との調整を十分に行った上で進めていくこととなった。

(4) 長期使用車両の推奨点検整備実施マニュアルについて

- 日整連が会員の整備事業者に対して配布している「長期使用車両の推奨点検整備実施マニュアル」について、紹介。同マニュアルも参考にしつつ、保守管理の将来的なあ

り方の検討に資する基礎データを収集していくこととなった。

(5) その他

第3回検討会は3月下旬から4月上旬に開催予定